

第2章 調査結果のあらまし

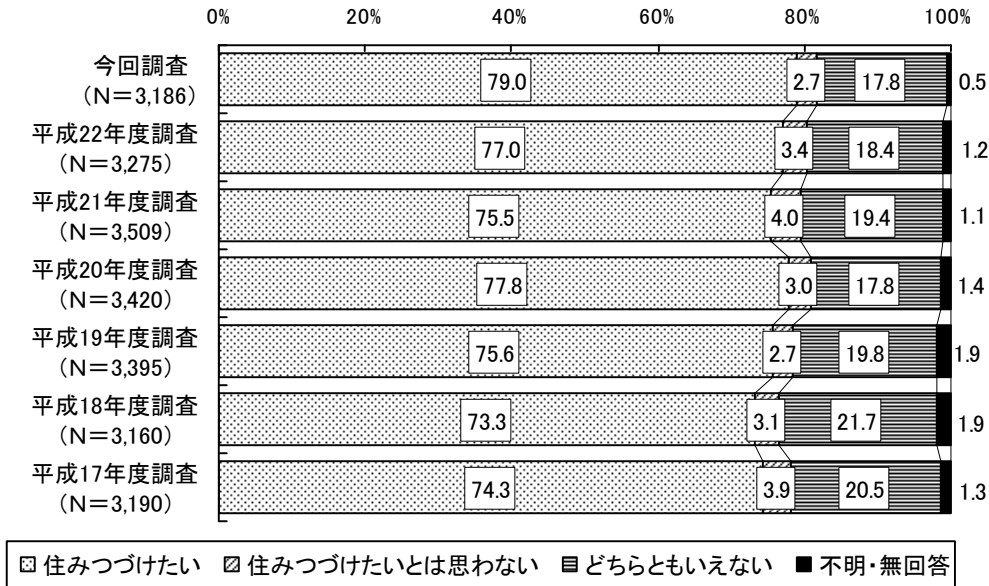
1. 県政全体に関する満足度

(1) 定住意向

問6 あなたは、これからも滋賀県に住みつづけたいと思いますか。(○は1つだけ)

◆「住みつづけたい」は全体の79.0%

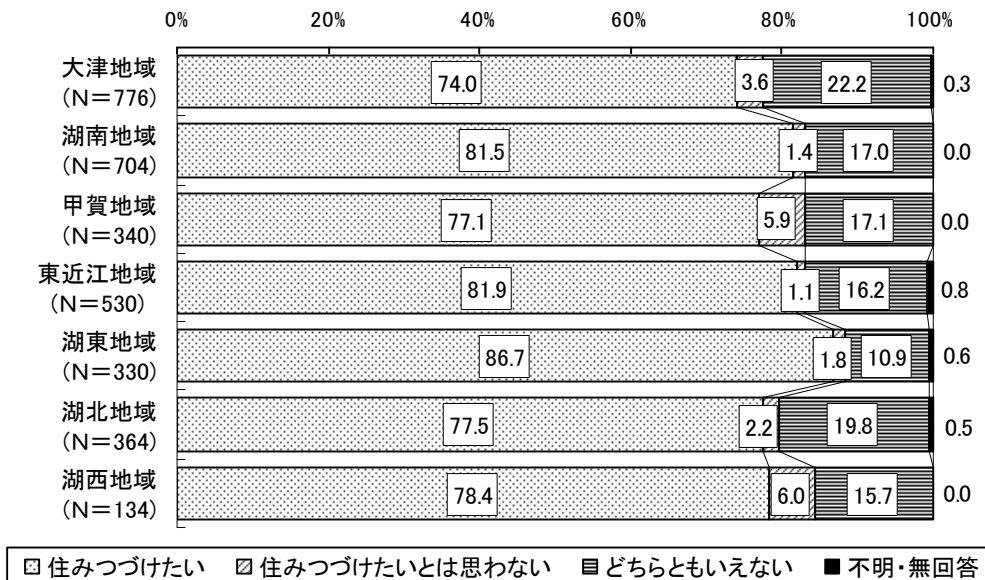
「住みつづけたい」が79.0%で最も高く、平成22年度調査と比較すると2.0ポイント高くなっている。「住みつづけたいとは思わない」は2.7%で平成22年度調査と比較すると0.7ポイント低くなっている。また「どちらともいえない」は17.8%で、平成22年度調査と比較すると0.6ポイント低くなっている。



【地域別】

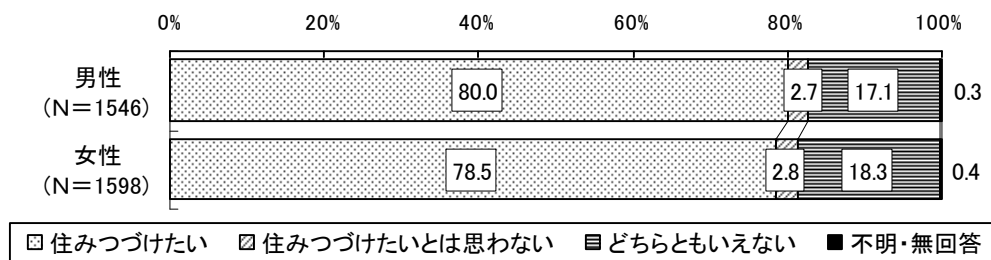
いずれの地域においても「住みつづけたい」が7割を超えており、湖東地域が86.7%で最も高く、大津地域が74.0%と最も低くなっている。

また、「住みつづけたいとは思わない」は湖西地域で6.0%、甲賀地域で5.9%と他の地域に比べて高くなっている。



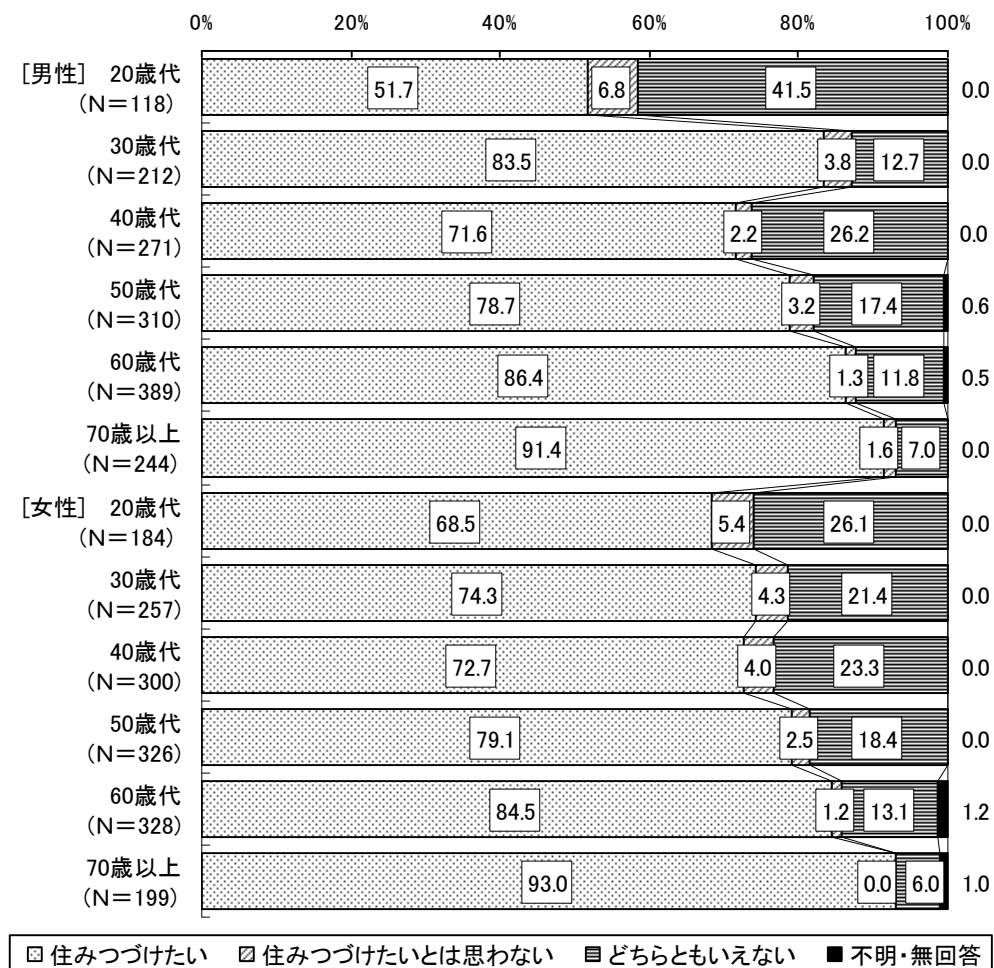
【性別】

男女とも「住みつづけたい」が7割を超え、男性80.0%、女性78.5%となっている。



【性・年代別】

「住みつづけたい」は、男女ともに70歳以上で最も高く、男性91.4%、女性93.0%と9割を超える。一方、20歳代で男性51.7%、女性68.5%と最も低くなっている。

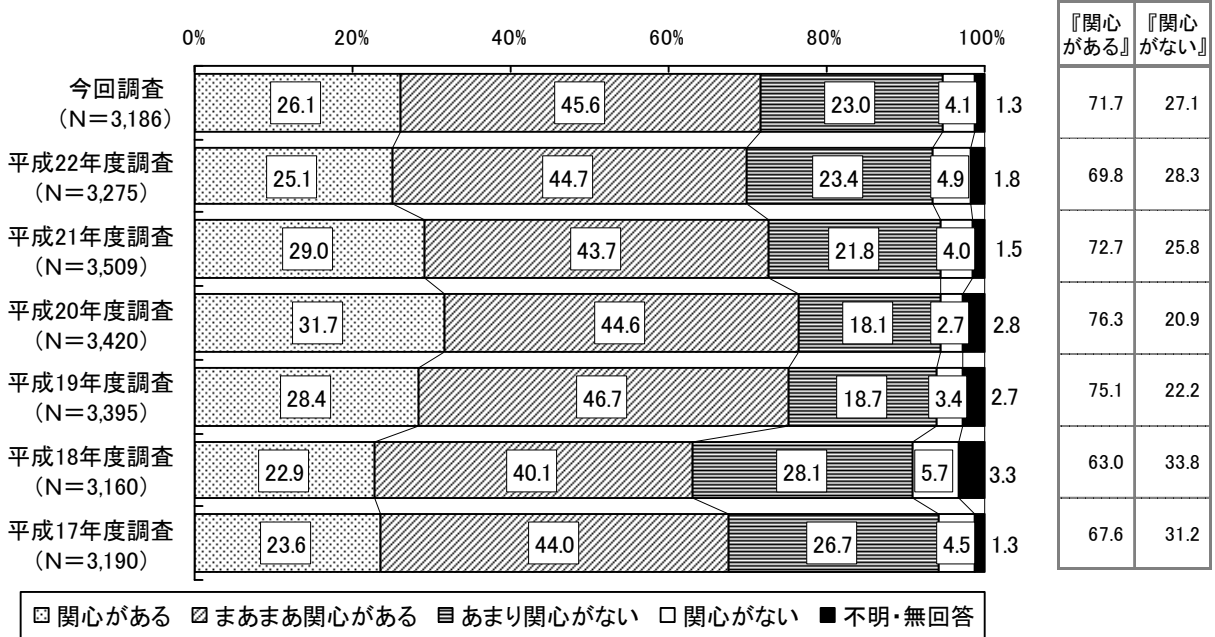


(2) 県政への関心度

問7 あなたは、県政に関心をお持ちですか。(○は1つだけ)

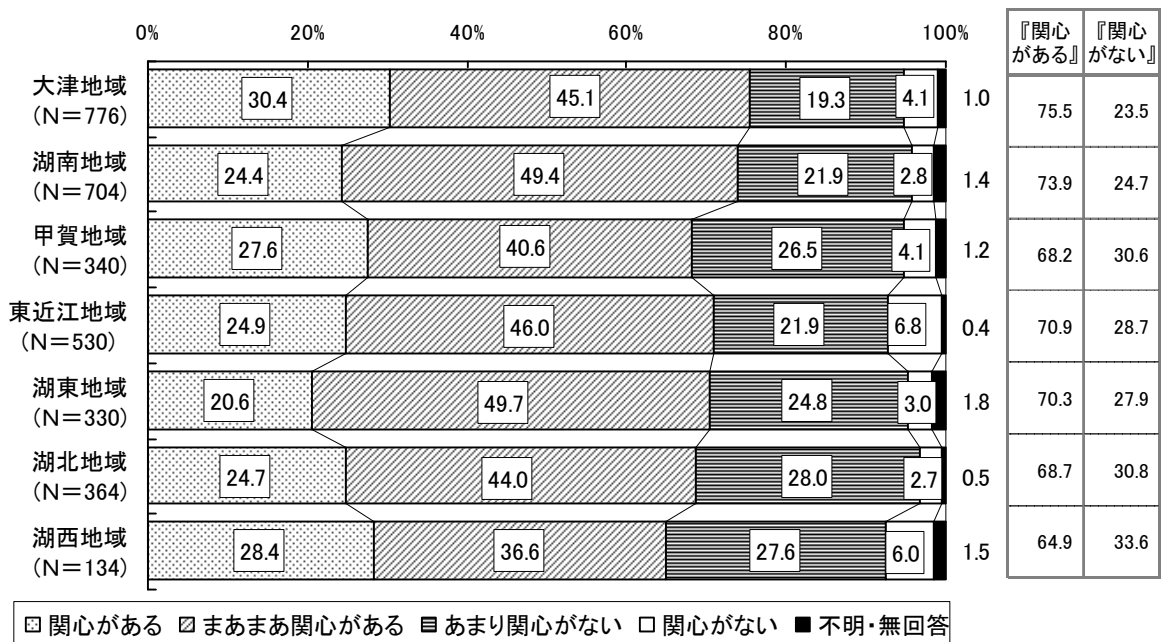
◆県政への関心度は71.7%

「関心がある」26.1%、「まあまあ関心がある」45.6%となり、『関心がある』(「関心がある」と「まあまあ関心がある」の合計)は71.7%で、平成22年度調査と比較すると1.9ポイント高くなっている。『関心がない』(「あまり関心がない」と「関心がない」の合計)は27.1%で、平成22年度調査と比較すると1.2ポイント低くなっている。



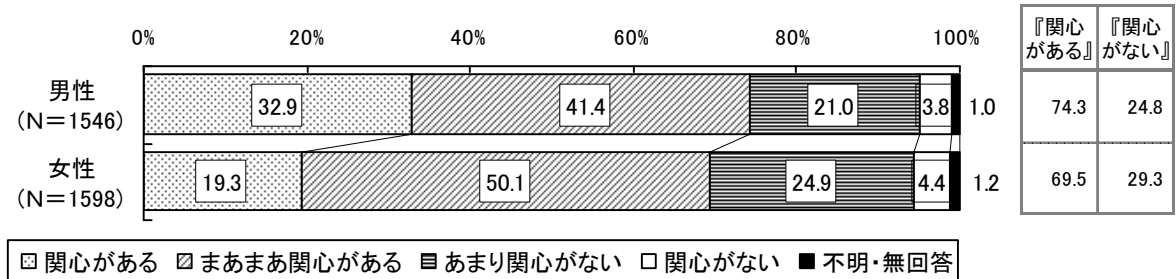
【地域別】

すべての地域で「まあまあ関心がある」が最も高くなっている。『関心がある』は大津地域が75.5%と最も高く、『関心がない』は湖西地域が33.6%と最も高くなっている。



【性別】

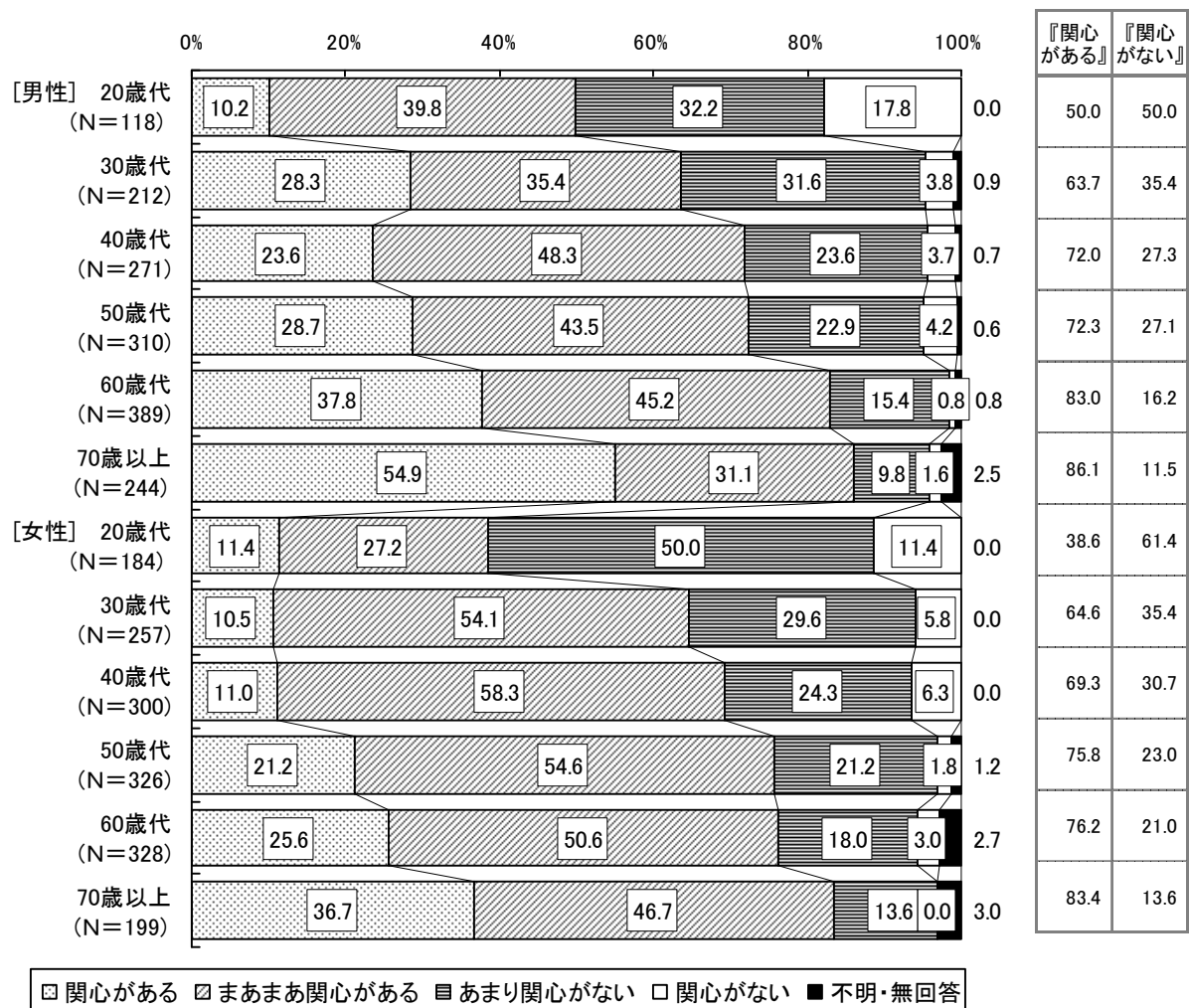
「関心がある」は男性 32.9%、女性 19.3%で、男性の方が 13.6 ポイントと高くなっている。
『関心がある』は男性が 74.3%、女性が 69.5%となっており、女性より男性の方が 4.8 ポイント高くなっている。



【性・年代別】

「関心がある」は、女性では年代が上がるにつれて高くなっており、最も高い 70 歳以上では 36.7%となっている。また、男性の最も高い 70 歳以上では 54.9%と 5 割を超え、30 歳以上では男性が女性を上回っている。

『関心がある』は男女ともに年代が上がるにつれて高くなっており、最も高い 70 歳以上では、男性 86.1%、女性 83.4%となっている。



(3) 県の施策に対する満足度

問8 県政における次の項目について、あなたはどの程度満足していますか。1～45のそれぞれの項目について、右の欄の1～6の中からあなたの満足度合いに最も近いものを選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

次ページの表に示す45項目について、『満足度』を調査した。

1. 「満足」
2. 「どちらかといえば満足」
3. 「どちらともいえない」
4. 「どちらかといえば不満」
5. 「不満」
6. 「わからない」

を選択肢とし、本報告書では『満足度』（「満足」と「どちらかといえば満足」の合計）と『不満度』（「どちらかといえば不満」と「不満」の合計）に着目して、分析を行なった。

■ 県の施策（45 項目）

暮らし	健康	1.食育の推進
		2.安心な滋賀県産の食べ物の生産、提供の推進
		3.スポーツや運動の振興
		4.食品の安全や水道水の安定供給、感染症対策の推進
		5.在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備
		6.身近なところで心身の健康相談や健診、保健指導などが受けられる仕組みづくり
	働く	7.就業支援の推進
		8.職業訓練の推進
		9.職業教育、キャリア教育の推進
		10.だれもが働きやすい職場環境の整備促進
		11.自ら事業をはじめたい人に対する起業支援
		12.子育てと仕事の両立を可能にするための社会基盤の整備
	住む	13.災害に強いまちづくり
		14.地域における防犯、防災体制の整備促進
		15.障害のある人や高齢者などの暮らしを支える制度や地域の仕組みづくり
		16.自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり
		17.環境への負荷が少ない暮らしのスタイルの推進
		18.身近なところで自然と触れ合える環境整備
	学ぶ・育てる	19.子ども一人ひとりに応じたきめ細かな教育環境の整備
		20.子どもたちが自然に触れる機会や仕事を体験できる仕組みの整備
		21.地域の伝統文化や、美術や音楽、演劇などの芸術文化に親しめる環境整備
		22.地域での世代を超えた交流の促進
		23.多様なニーズに対応する良質な子育て支援サービスの提供
		24.出産前後の母子や小児の保健医療体制の整備
経済・産業	25.モノづくりや環境、健康福祉、観光、バイオ、ITなどの分野における産業の振興	
	26.消費者の多様なニーズに対応した商業・サービス業の振興	
	27.歴史や文化、自然などの地域資源を活かした観光の振興	
	28.高度なモノづくりや高付加価値なサービスの提供などを支える人材育成	
	29.環境との共生を目指した農林水産業の担い手の育成と振興	
	30.第一次、二次、三次産業といった産業分類にとらわれない産業システムの構築や、産学官金民連携などによる産業振興	
環境	31.低炭素社会への転換	
	32.県民が主役となる環境学習や環境保全活動、森林づくりなどの促進	
	33.多様な生物が生息する空間の保全	
	34.琵琶湖流域生態系の保全・再生	
	35.人の暮らしと琵琶湖の関わりの再生	
	36.事業活動の低炭素化の促進	
	37.廃棄物の発生抑制や資源化の仕組みの確立など、資源循環の推進	
	38.農地や森林の多面的機能の発揮	
県土	39.琵琶湖を囲む美しい田園や緑豊かな森林の維持	
	40.歴史や文化などを活かしたまちづくり	
	41.公園や下水道、交通環境の整備などのまちづくり	
	42.これまで整備された社会資本の計画的かつ適切な保全管理	
	43.近隣地域との広域交流ネットワークの形成	
	44.鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備	
	45.地震や風雪水害、土砂災害に強い県土づくり	

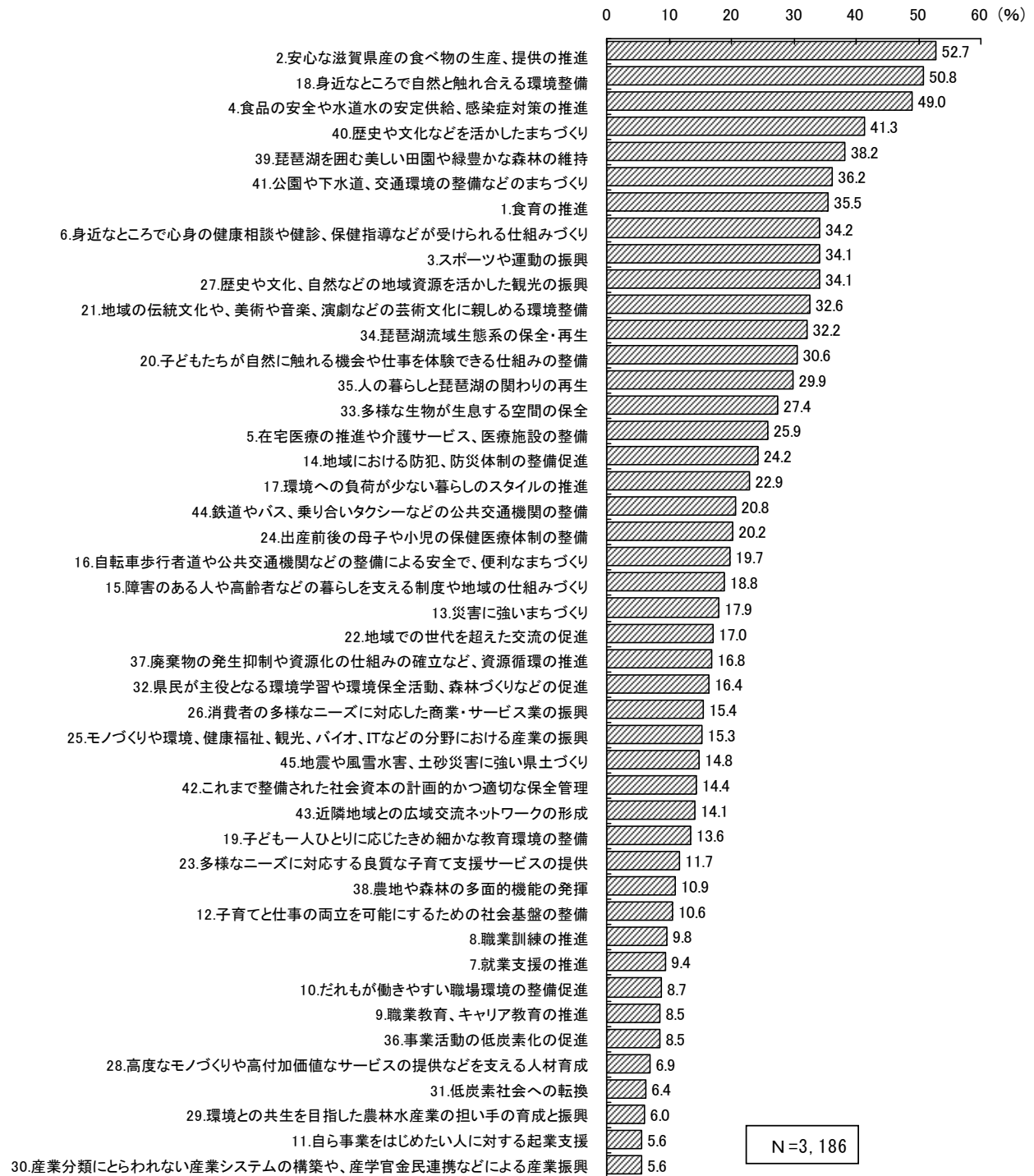
①満足度の高い施策

◆満足度の最も高い施策は「安心な滋賀県産の食べ物の生産、提供の推進」で52.7%

『満足度』の最も高い施策は、「安心な滋賀県産の食べ物の生産、提供の推進」で52.7%、次いで「身近なところで自然と触れ合える環境整備」(50.8%)、「食品の安全や水道水の安定供給、感染症対策の推進」(49.0%)、「歴史や文化などを活かしたまちづくり」(41.3%)と続いている。

満足度の上位10項目の内訳は、暮らしの分野から6項目、経済・産業の分野から1項目、県土の分野から3項目となっている。

満足度



【地域別】

大津・湖南・湖西地域では「身近なところで自然と触れ合える環境整備」が、甲賀・東近江・湖東地域では「安心な滋賀県産の食べ物の生産、提供の推進」が、湖北地域では「歴史や文化などを活かしたまちづくり」が1位となっている。

「身近なところで自然と触れ合える環境整備」、「安心な滋賀県産の食べ物の生産、提供の推進」、「食品の安全や水道水の安定供給、感染症対策の推進」の3項目はすべての地域で5位以内を占めている。

(単位：%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 (N=3,186)	2. 安心な滋賀県産の食べ物の生産、提供の推進	18. 身近なところで自然と触れ合える環境整備	4. 食品の安全や水道水の安定供給、感染症対策の推進	40. 歴史や文化などを活かしたまちづくり	39. 琵琶湖を囲む美しい田園や緑豊かな森林の維持
	52.7	50.8	49.0	41.3	38.2
大津地域 (N=776)	18. 身近なところで自然と触れ合える環境整備	2. 安心な滋賀県産の食べ物の生産、提供の推進	4. 食品の安全や水道水の安定供給、感染症対策の推進	40. 歴史や文化などを活かしたまちづくり	39. 琵琶湖を囲む美しい田園や緑豊かな森林の維持
	56.7	54.9	53.4	42.0	41.0
湖南地域 (N=704)	18. 身近なところで自然と触れ合える環境整備	2. 安心な滋賀県産の食べ物の生産、提供の推進	4. 食品の安全や水道水の安定供給、感染症対策の推進	39. 琵琶湖を囲む美しい田園や緑豊かな森林の維持	40. 歴史や文化などを活かしたまちづくり
	56.5	55.4	50.9	44.6	42.6
甲賀地域 (N=340)	2. 安心な滋賀県産の食べ物の生産、提供の推進	4. 食品の安全や水道水の安定供給、感染症対策の推進	18. 身近なところで自然と触れ合える環境整備	1. 食育の推進	40. 歴史や文化などを活かしたまちづくり
	51.2	48.8	45.9	40.0	38.2
東近江地域 (N=530)	2. 安心な滋賀県産の食べ物の生産、提供の推進	4. 食品の安全や水道水の安定供給、感染症対策の推進	18. 身近なところで自然と触れ合える環境整備	39. 琵琶湖を囲む美しい田園や緑豊かな森林の維持	40. 歴史や文化などを活かしたまちづくり
	54.7	49.1	46.8	39.2	38.5
湖東地域 (N=330)	2. 安心な滋賀県産の食べ物の生産、提供の推進	4. 食品の安全や水道水の安定供給、感染症対策の推進	40. 歴史や文化などを活かしたまちづくり	18. 身近なところで自然と触れ合える環境整備	6. 身近なところで心身の健康相談や健診、保健指導などが受けられる仕組みづくり
	52.1	47.3	39.4	39.4	35.2
湖北地域 (N=364)	40. 歴史や文化などを活かしたまちづくり	27. 歴史や文化、自然などの地域資源を活かした観光の振興	18. 身近なところで自然と触れ合える環境整備	2. 安心な滋賀県産の食べ物の生産、提供の推進	4. 食品の安全や水道水の安定供給、感染症対策の推進
	46.7	45.6	45.6	42.9	38.5
湖西地域 (N=134)	18. 身近なところで自然と触れ合える環境整備	2. 安心な滋賀県産の食べ物の生産、提供の推進	4. 食品の安全や水道水の安定供給、感染症対策の推進	6. 身近なところで心身の健康相談や健診、保健指導などが受けられる仕組みづくり	1. 食育の推進
	56.7	52.2	48.5	41.0	41.0

【性別】

男性では「食品の安全や水道水の安定供給、感染症対策の推進」、女性では「安心な滋賀県産の食べ物の生産、提供の推進」がそれぞれ1位となっている。

(単位：%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (N=1,546)	4. 食品の安全や水道水の安定供給、感染症対策の推進	18. 身近なところで自然と触れ合える環境整備	2. 安心な滋賀県産の食べ物の生産、提供の推進	40. 歴史や文化などを活かしたまちづくり	41. 公園や下水道、交通環境の整備などのまちづくり
	51.1	47.3	47.0	37.9	36.4
女性 (N=1,598)	2. 安心な滋賀県産の食べ物の生産、提供の推進	18. 身近なところで自然と触れ合える環境整備	4. 食品の安全や水道水の安定供給、感染症対策の推進	40. 歴史や文化などを活かしたまちづくり	39. 琵琶湖を囲む美しい田園や緑豊かな森林の維持
	58.4	54.4	47.1	45.1	40.9

【性・年代別】

男性の20～40歳代では「身近なところで自然と触れ合える環境整備」が、50歳以上では「食品の安全や水道水の安定供給、感染症対策の推進」がそれぞれ1位となっている。

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	20歳代 (N=118)	18. 身近なところで自然と触れ合える環境整備	4. 食品の安全や水道水の安定供給、感染症対策の推進	40. 歴史や文化などを活かしたまちづくり	39. 琵琶湖を囲む美しい田園や緑豊かな森林の維持	34. 琵琶湖流域生態系の保全・再生
		59.3	50.8	48.3	47.5	45.8
	30歳代 (N=212)	18. 身近なところで自然と触れ合える環境整備	4. 食品の安全や水道水の安定供給、感染症対策の推進	40. 歴史や文化などを活かしたまちづくり	2. 安心な滋賀県産の食べ物の生産、提供の推進	34. 琵琶湖流域生態系の保全・再生
		49.1	40.6	39.6	37.7	35.4
	40歳代 (N=271)	18. 身近なところで自然と触れ合える環境整備	4. 食品の安全や水道水の安定供給、感染症対策の推進	34. 琵琶湖流域生態系の保全・再生	2. 安心な滋賀県産の食べ物の生産、提供の推進	40. 歴史や文化などを活かしたまちづくり 41. 公園や下水道、交通環境の整備などのまちづくり
		50.6	42.8	39.1	38.7	35.8
	50歳代 (N=310)	4. 食品の安全や水道水の安定供給、感染症対策の推進	2. 安心な滋賀県産の食べ物の生産、提供の推進	18. 身近なところで自然と触れ合える環境整備	21. 地域の伝統文化や、美術や音楽、演劇などの芸術文化に親しめる環境整備 27. 歴史や文化、自然などの地域資源を活かした観光の振興	
		47.1	46.8	46.1		33.9
	60歳代 (N=389)	4. 食品の安全や水道水の安定供給、感染症対策の推進	2. 安心な滋賀県産の食べ物の生産、提供の推進	18. 身近なところで自然と触れ合える環境整備	34. 琵琶湖流域生態系の保全・再生	41. 公園や下水道、交通環境の整備などのまちづくり
		56.6	48.3	45.5	35.2	34.7
	70歳以上 (N=244)	4. 食品の安全や水道水の安定供給、感染症対策の推進	2. 安心な滋賀県産の食べ物の生産、提供の推進	1. 食育の推進	6. 身近なところで心身の健康相談や健診、保健指導などが受けられる仕組みづくり	5. 在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備
		65.6	64.3	55.3	49.6	48.0

※上記の太線枠の部分は、同率同位を示している。次頁以降も同じ。

女性の20歳代では、「身近なところで自然と触れ合える環境整備」が、その他の世代では、「安心な滋賀県産の食べ物の生産、提供の推進」がそれぞれ1位となっている。

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
女性	20歳代 (N=184)	18. 身近なところで自然と触れ合える環境整備	2. 安心な滋賀県産の食べ物の生産、提供の推進	40. 歴史や文化などを活かしたまちづくり	4. 食品の安全や水道水の安定供給、感染症対策の推進	39. 琵琶湖を囲む美しい田園や緑豊かな森林の維持
		55.4	53.3	43.5	42.9	40.2
	30歳代 (N=257)	2. 安心な滋賀県産の食べ物の生産、提供の推進	18. 身近なところで自然と触れ合える環境整備	40. 歴史や文化などを活かしたまちづくり	20. 子どもたちが自然に触れる機会や仕事を体験できる仕組みの整備	4. 食品の安全や水道水の安定供給、感染症対策の推進
		61.9	56.0	49.0	44.7	40.5
	40歳代 (N=300)	2. 安心な滋賀県産の食べ物の生産、提供の推進	18. 身近なところで自然と触れ合える環境整備	4. 食品の安全や水道水の安定供給、感染症対策の推進	40. 歴史や文化などを活かしたまちづくり	20. 子どもたちが自然に触れる機会や仕事を体験できる仕組みの整備
		58.7	53.3	45.3	44.0	41.0
	50歳代 (N=326)	2. 安心な滋賀県産の食べ物の生産、提供の推進	18. 身近なところで自然と触れ合える環境整備	4. 食品の安全や水道水の安定供給、感染症対策の推進	6. 身近なところで心身の健康相談や健診、保健指導などが受けられる仕組みづくり	1. 食育の推進
		55.8	54.3	41.1	40.2	39.9
	60歳代 (N=328)	2. 安心な滋賀県産の食べ物の生産、提供の推進	18. 身近なところで自然と触れ合える環境整備	4. 食品の安全や水道水の安定供給、感染症対策の推進	40. 歴史や文化などを活かしたまちづくり	39. 琵琶湖を囲む美しい田園や緑豊かな森林の維持
		56.1	53.4	52.7	47.6	43.0
	70歳以上 (N=199)	2. 安心な滋賀県産の食べ物の生産、提供の推進	4. 食品の安全や水道水の安定供給、感染症対策の推進	18. 身近なところで自然と触れ合える環境整備	6. 身近なところで心身の健康相談や健診、保健指導などが受けられる仕組みづくり	1. 食育の推進
		66.3	62.3	54.3	53.3	51.3

「食品の安全や水道水の安定供給、感染症対策の推進」は、男女ともすべての世代で上位5位以内を占めている。

【定住意向別】

「住みつづけたい」と回答した人では「安心な滋賀県産の食べ物の生産、提供の推進」が、「住みつづけたいとは思わない」および「どちらともいえない」と回答した人では、「身近なところで自然と触れ合える環境整備」が1位となっている。

(単位：%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
住みつづけたい (N=2,517)	2. 安心な滋賀県産の食べ物の生産、提供の推進	18. 身近なところで自然と触れ合える環境整備	4. 食品の安全や水道水の安定供給、感染症対策の推進	40. 歴史や文化などを活かしたまちづくり	39. 琵琶湖を囲む美しい田園や緑豊かな森林の維持
	56.3	52.8	52.5	43.5	40.0
住みつづけたいとは思わない (N=86)	18. 身近なところで自然と触れ合える環境整備	2. 安心な滋賀県産の食べ物の生産、提供の推進	4. 食品の安全や水道水の安定供給、感染症対策の推進	33. 多様な生物が生息する空間の保全 39. 琵琶湖を囲む美しい田園や緑豊かな森林の維持	
	43.0	37.2	36.0	34.9	
どちらともいえない (N=566)	18. 身近なところで自然と触れ合える環境整備	2. 安心な滋賀県産の食べ物の生産、提供の推進	4. 食品の安全や水道水の安定供給、感染症対策の推進	40. 歴史や文化などを活かしたまちづくり	34. 琵琶湖流域生態系の保全・再生 39. 琵琶湖を囲む美しい田園や緑豊かな森林の維持
	43.1	39.9	36.0	33.0	30.7

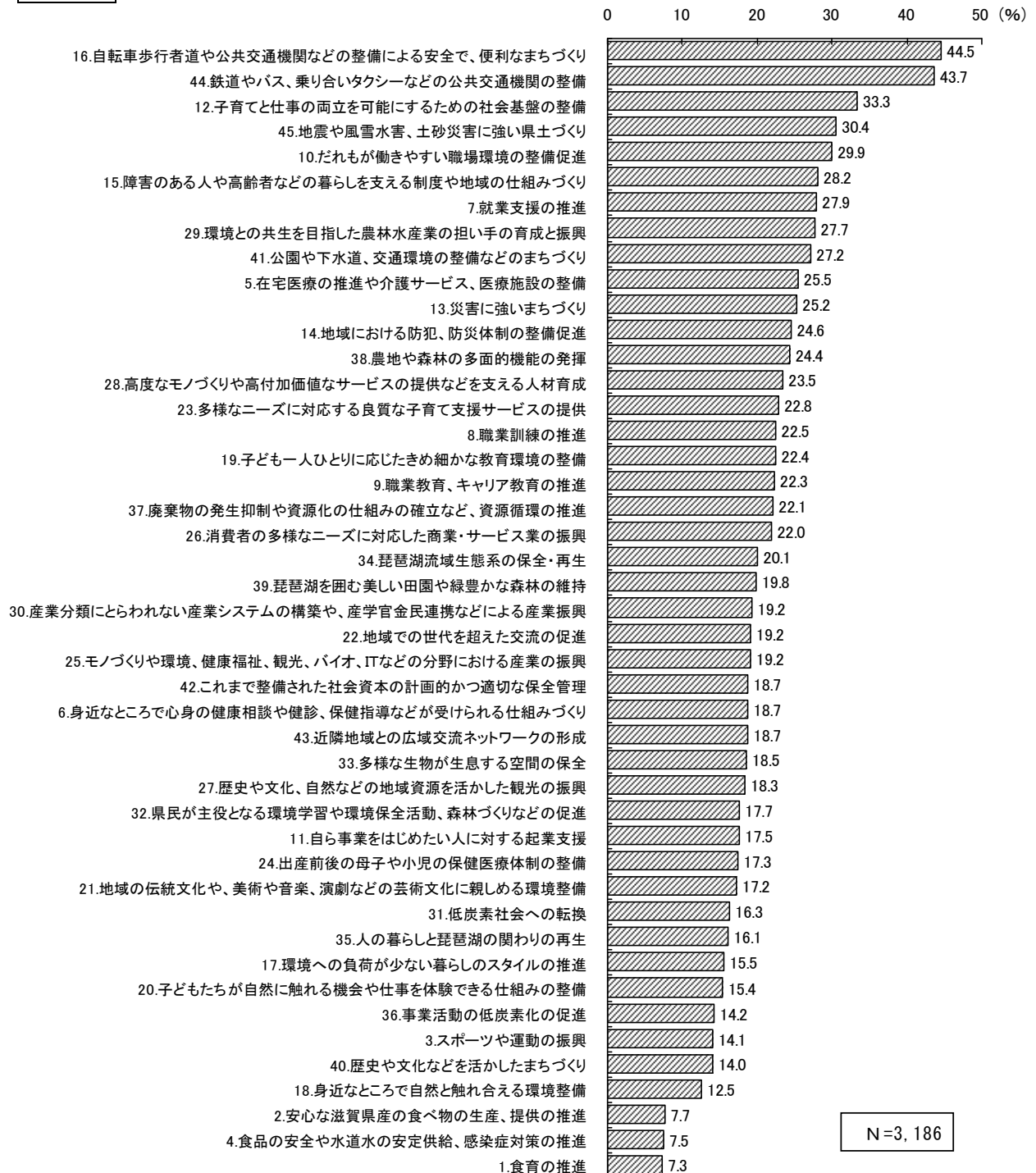
②不満度の高い施策

◆不満度の最も高い施策は「自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり」で44.5%

『不満度』の最も高い施策は「自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり」で44.5%、次いで「鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備」(43.7%)、「子育てと仕事の両立を可能にするための社会基盤の整備」(33.3%)の順となっている。

不満度の上位10項目の内訳は、暮らしの分野から6項目、経済・産業の分野から1項目、県土の分野から3項目となっている。

不満度



N=3,186

【地域別】

大津・湖南・湖北地域では「自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり」が、その他の地域では「鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備」が1位となっており、両項目ともすべての地域で上位3位以内を占めている。

(単位：%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 (N=3,186)	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備	12. 子育てと仕事の両立を可能にするための社会基盤の整備	45. 地震や風雪水害、土砂災害に強い県土づくり	10. だれもが働きやすい職場環境の整備促進
	44.5	43.7	33.3	30.4	29.9
大津地域 (N=776)	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備	45. 地震や風雪水害、土砂災害に強い県土づくり	12. 子育てと仕事の両立を可能にするための社会基盤の整備	15. 障害のある人や高齢者などの暮らしを支える制度や地域の仕組みづくり
	47.4	42.3	30.2	29.6	27.8
湖南地域 (N=704)	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	12. 子育てと仕事の両立を可能にするための社会基盤の整備	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備	10. だれもが働きやすい職場環境の整備促進	15. 障害のある人や高齢者などの暮らしを支える制度や地域の仕組みづくり 29. 環境との共生を目指した農林水産業の担い手の育成と振興
	40.9	37.5	36.9	28.4	26.1
甲賀地域 (N=340)	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	12. 子育てと仕事の両立を可能にするための社会基盤の整備	10. だれもが働きやすい職場環境の整備促進	5. 在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備
	51.8	42.4	37.1	32.9	32.4
東近江地域 (N=530)	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	41. 公園や下水道、交通環境の整備などのまちづくり	10. だれもが働きやすい職場環境の整備促進	12. 子育てと仕事の両立を可能にするための社会基盤の整備
	45.7	42.6	31.7	31.3	29.8
湖東地域 (N=330)	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	45. 地震や風雪水害、土砂災害に強い県土づくり	15. 障害のある人や高齢者などの暮らしを支える制度や地域の仕組みづくり	41. 公園や下水道、交通環境の整備などのまちづくり
	44.8	44.2	37.0	35.2	32.7
湖北地域 (N=364)	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備	45. 地震や風雪水害、土砂災害に強い県土づくり	12. 子育てと仕事の両立を可能にするための社会基盤の整備	10. だれもが働きやすい職場環境の整備促進
	48.9	46.2	45.1	36.8	36.3
湖西地域 (N=134)	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	45. 地震や風雪水害、土砂災害に強い県土づくり	7. 就業支援の推進	10. だれもが働きやすい職場環境の整備促進
	50.0	49.3	43.3	42.5	41.0

※上記の太線枠の部分は、同率同位を示している。次頁以降も同様。

【性別】

男性は「自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり」が、女性は「鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備」がそれぞれ1位となっている。「環境との共生を目指した農林水産業の担い手の育成と振興」では、男性（36.2%）が女性（19.5%）に比べ16.7ポイントも高くなっている。

（単位：％）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (N=1,546)	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備	29. 環境との共生を目指した農林水産業の担い手の育成と振興	45. 地震や風雪水害、土砂災害に強い県土づくり	12. 子育てと仕事の両立を可能にするための社会基盤の整備
	47.7	45.1	36.2	33.4	33.0
女性 (N=1,598)	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	12. 子育てと仕事の両立を可能にするための社会基盤の整備	10. だれもが働きやすい職場環境の整備促進	45. 地震や風雪水害、土砂災害に強い県土づくり
	42.5	41.6	34.0	29.3	27.7

【性・年代別】

男性の30歳代では「鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備」が、70歳以上では「環境との共生を目指した農林水産業の担い手の育成と振興」が、その他の世代では「自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり」が、それぞれ1位となっている。

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	20歳代 (N=118)	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備	7. 就業支援の推進	9. 職業教育、キャリア教育の推進	10. だれもが働きやすい職場環境の整備促進
		50.8	49.2	47.5	42.4	38.1
	30歳代 (N=212)	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	10. だれもが働きやすい職場環境の整備促進 12. 子育てと仕事の両立を可能にするための社会基盤の整備	7. 就業支援の推進	
		50.0	43.9	36.8	36.3	
	40歳代 (N=271)	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備	12. 子育てと仕事の両立を可能にするための社会基盤の整備 13. 災害に強いまちづくり	10. だれもが働きやすい職場環境の整備促進 14. 地域における防犯、防災体制の整備促進	
		62.4	57.2	42.1	38.7	
	50歳代 (N=310)	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備	45. 地震や風雪水害、土砂災害に強い県土づくり	29. 環境との共生を目指した農林水産業の担い手の育成と振興	15. 障害のある人や高齢者などの暮らしを支える制度や地域の仕組みづくり
		50.0	47.4	39.7	39.4	36.8
	60歳代 (N=389)	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備	29. 環境との共生を目指した農林水産業の担い手の育成と振興	38. 農地や森林の多面的機能の発揮	5. 在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備
		45.5	40.6	37.5	35.5	32.4
	70歳以上 (N=244)	29. 環境との共生を目指した農林水産業の担い手の育成と振興	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備	15. 障害のある人や高齢者などの暮らしを支える制度や地域の仕組みづくり	45. 地震や風雪水害、土砂災害に強い県土づくり
		35.7	34.0	30.3	28.7	26.6

女性の30歳代では「子育てと仕事の両立を可能にするための社会基盤の整備」が、50歳代・70歳以上では「自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり」が、その他の世代では「鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備」が、それぞれ1位となっている。

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
女性	20歳代 (N=184)	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備	10. だれもが働きやすい職場環境の整備促進	12. 子育てと仕事の両立を可能にするための社会基盤の整備	7. 就業支援の推進	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり
		49.5	35.9	33.7	33.2	32.1
	30歳代 (N=257)	12. 子育てと仕事の両立を可能にするための社会基盤の整備	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備	23. 多様なニーズに対応する良質な子育て支援サービスの提供	10. だれもが働きやすい職場環境の整備促進
		52.9	44.4	42.4	38.9	34.6
	40歳代 (N=300)	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	12. 子育てと仕事の両立を可能にするための社会基盤の整備	10. だれもが働きやすい職場環境の整備促進	19. 子ども一人ひとりに応じたきめ細かな教育環境の整備
		46.0	45.3	37.7	35.0	33.0
	50歳代 (N=326)	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備	12. 子育てと仕事の両立を可能にするための社会基盤の整備	10. だれもが働きやすい職場環境の整備促進	7. 就業支援の推進
		46.9	41.4	32.8	32.8	31.9
	60歳代 (N=328)	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	41. 公園や下水道、交通環境の整備などのまちづくり	45. 地震や風雪水害、土砂災害に強い県土づくり	12. 子育てと仕事の両立を可能にするための社会基盤の整備
		40.9	39.9	27.7	27.4	27.1
	70歳以上 (N=199)	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備	45. 地震や風雪水害、土砂災害に強い県土づくり	15. 障害のある人や高齢者などの暮らしを支える制度や地域の仕組みづくり	13. 災害に強いまちづくり
		35.2	34.2	25.6	23.1	21.1

【定住意向別】

「住みつけたい」、「住みつけたいとは思わない」と回答した人では、「自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり」が、「どちらともいえない」と回答した人では、「鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備」が1位となっている。

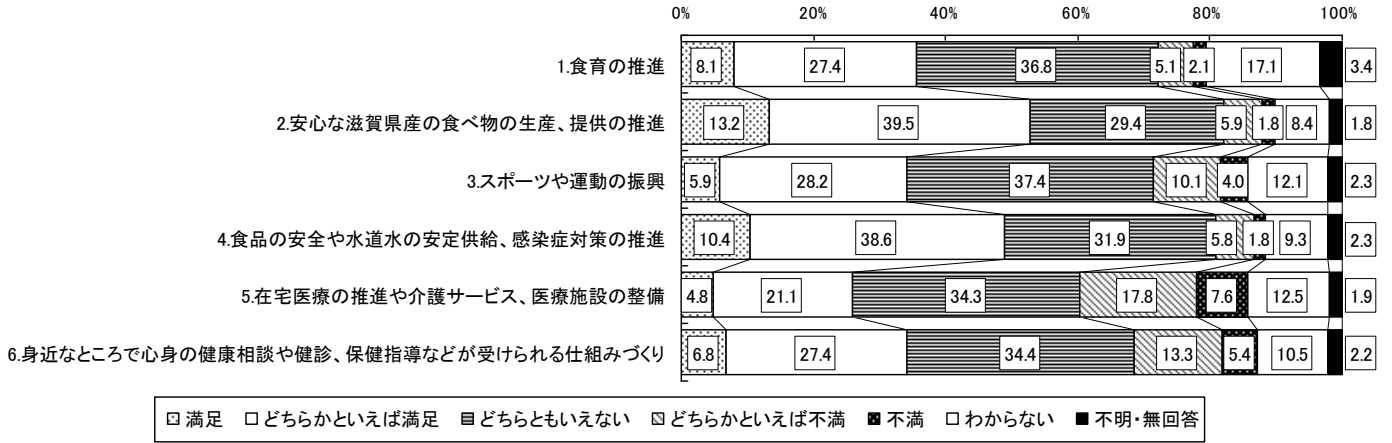
(単位：%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
住みつけたい (N=2,517)	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備	12. 子育てと仕事の両立を可能にするための社会基盤の整備	45. 地震や風雪水害、土砂災害に強い県土づくり	29. 環境との共生を目指した農林水産業の担い手の育成と振興
	41.8	40.8	33.0	29.9	27.1
住みつけたいとは思わない (N=86)	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備	41. 公園や下水道、交通環境の整備などのまちづくり	7. 就業支援の推進	5. 在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備
	74.4	61.6	46.5	43.0	41.9
どちらともいえない (N=566)	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	10. だれもが働きやすい職場環境の整備促進	7. 就業支援の推進	12. 子育てと仕事の両立を可能にするための社会基盤の整備
	54.6	52.7	42.9	40.3	36.0

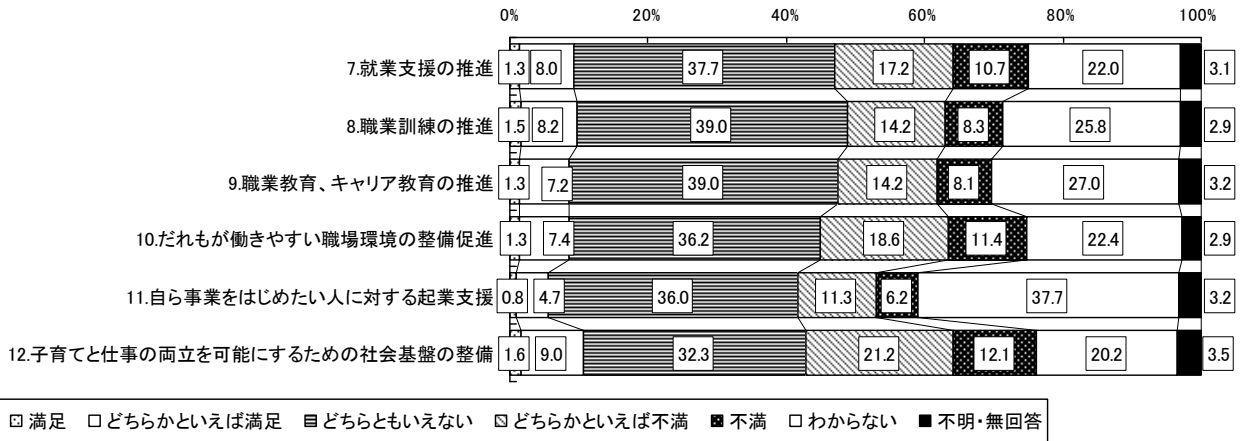
③県政に対する『満足度』、『不満度』（全体の結果）

暮らし

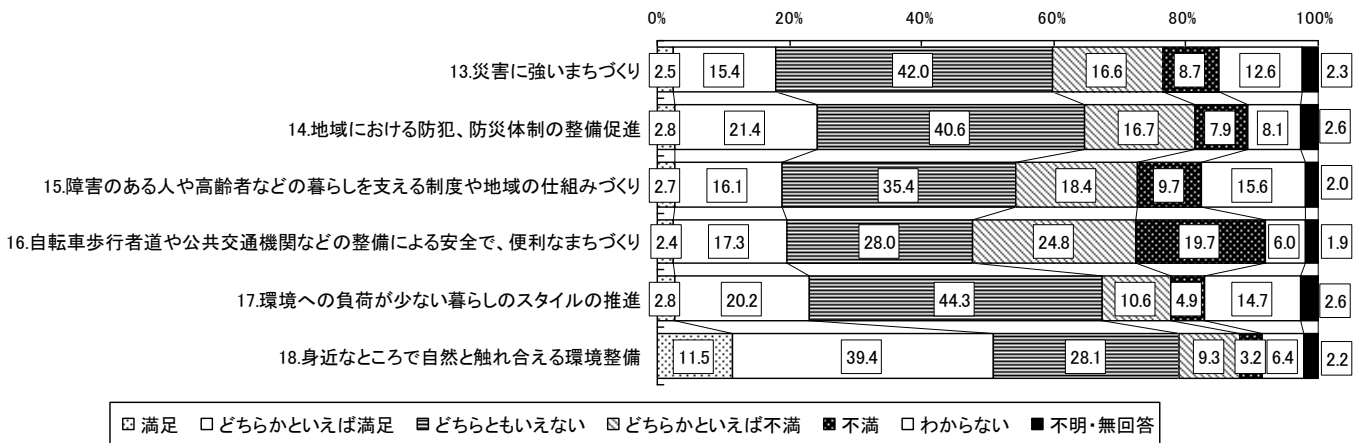
（健康）



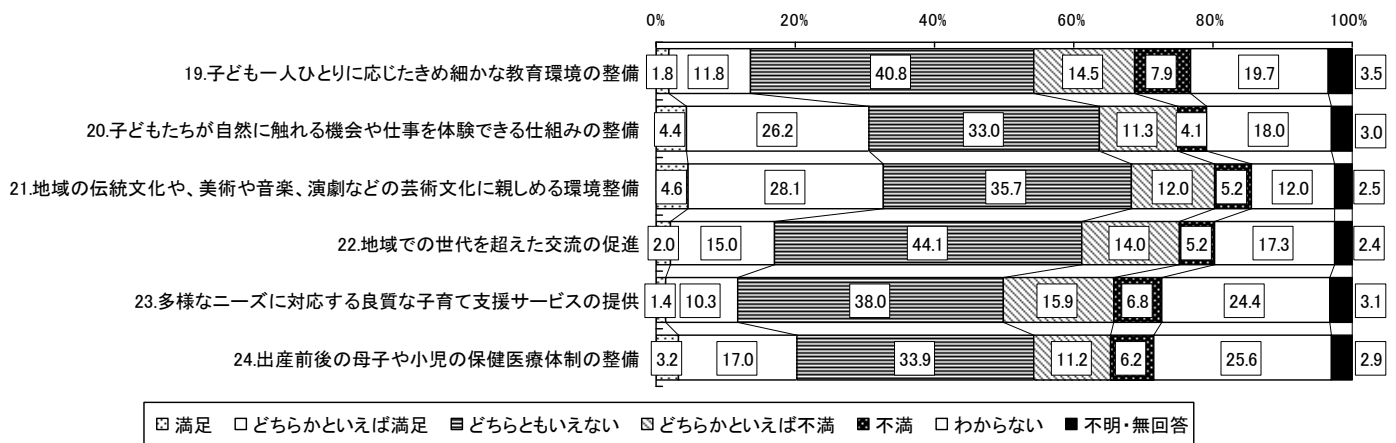
（働く）



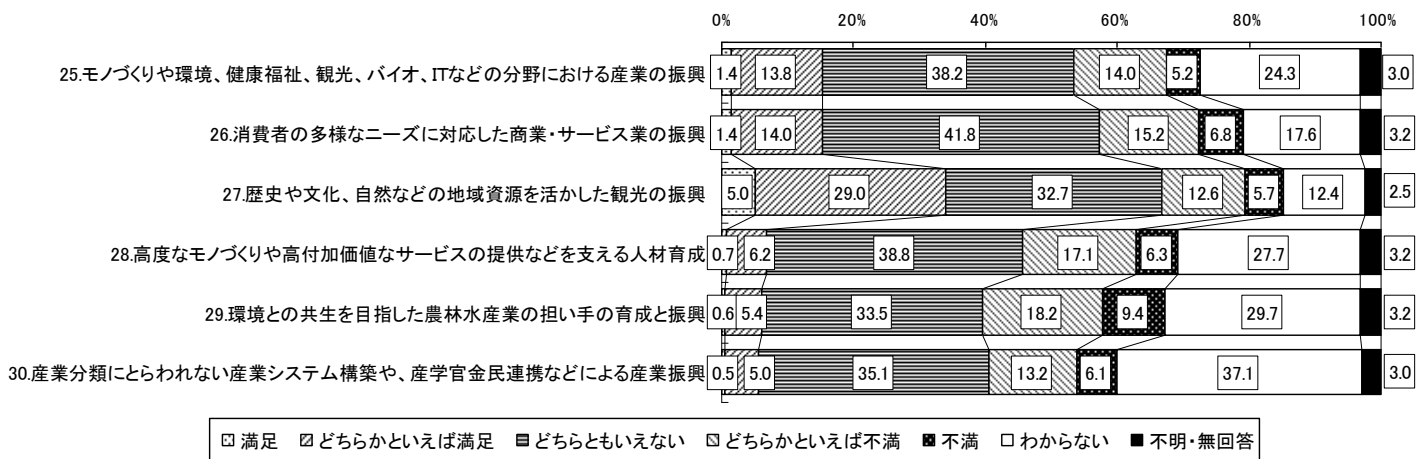
（住む）



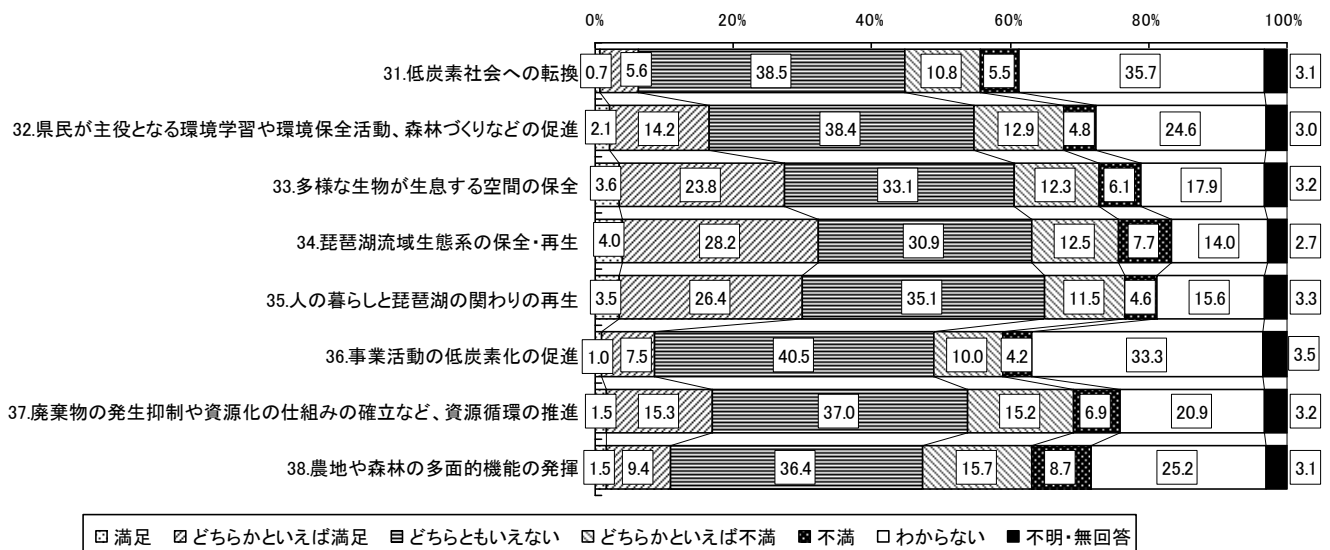
(学ぶ・育てる)



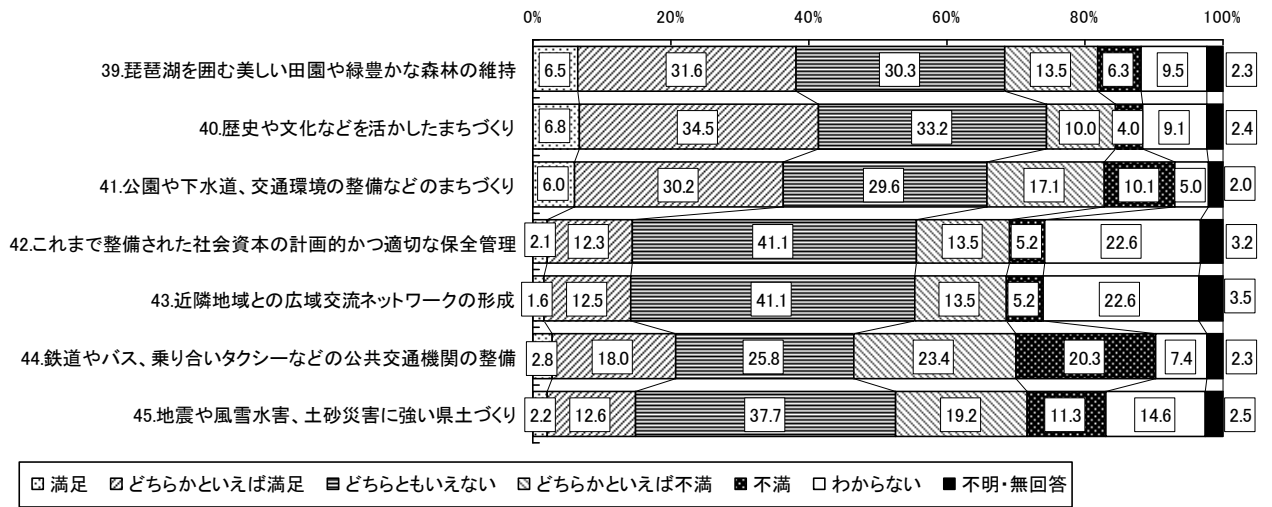
経済・産業



環境



県 土



(4) 力を入れてほしい県の施策

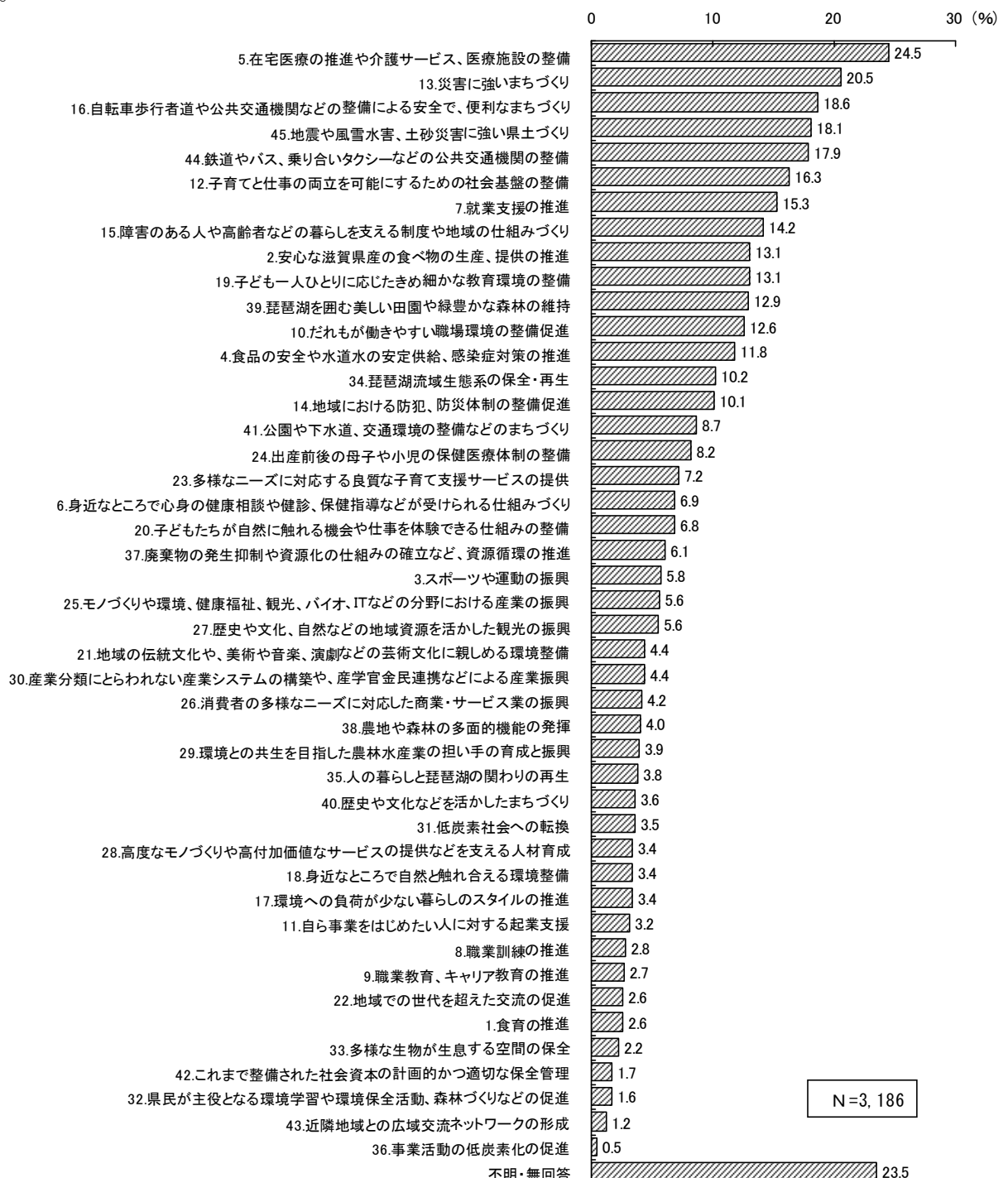
問9 あなたが、いま県の施策で力を入れてほしいと思うことはどんなことですか。前問の内容を参考に、1～45の中から選んでください。(〇は5つまで)

①全体の順位

◆最も力を入れてほしい施策は「在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備」で24.5%

全体では、「在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備」が24.5%で最も高くなっている。次いで「災害に強いまちづくり」(20.5%)、「自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり」(18.6%)、「地震や風雪水害、土砂災害に強い県土づくり」(18.1%)の順となっている。

要望の多い上位10項目の内訳は、暮らしの分野から8項目、県土の分野から2項目となっている。

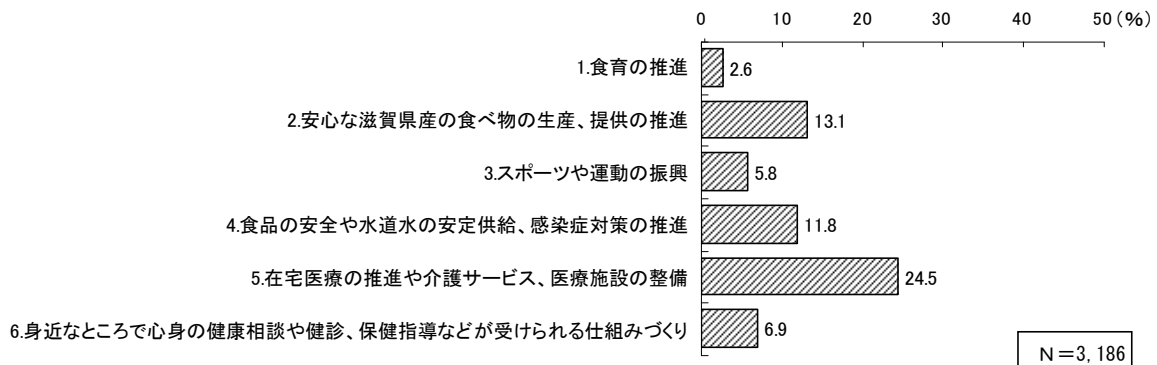


N=3,186

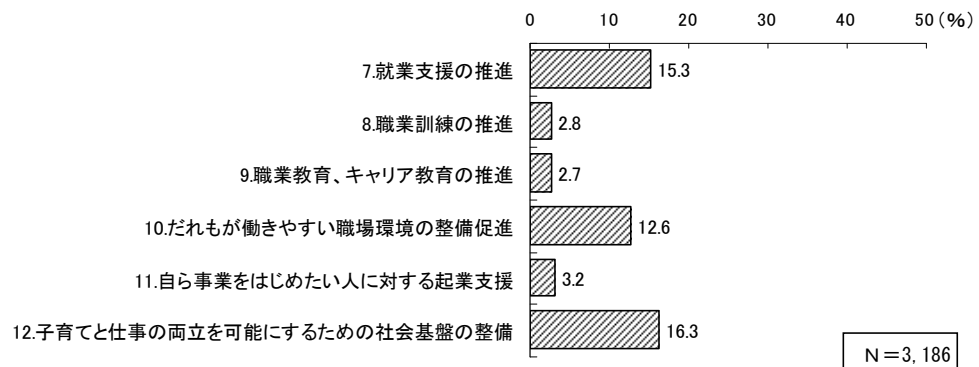
②暮らし分野における要望

暮らし分野が全体の上位3位を占め、全体と同様「在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備」が24.5%と最も高く、次いで「災害に強いまちづくり」(20.5%)、「自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり」(18.6%)の順となっている。

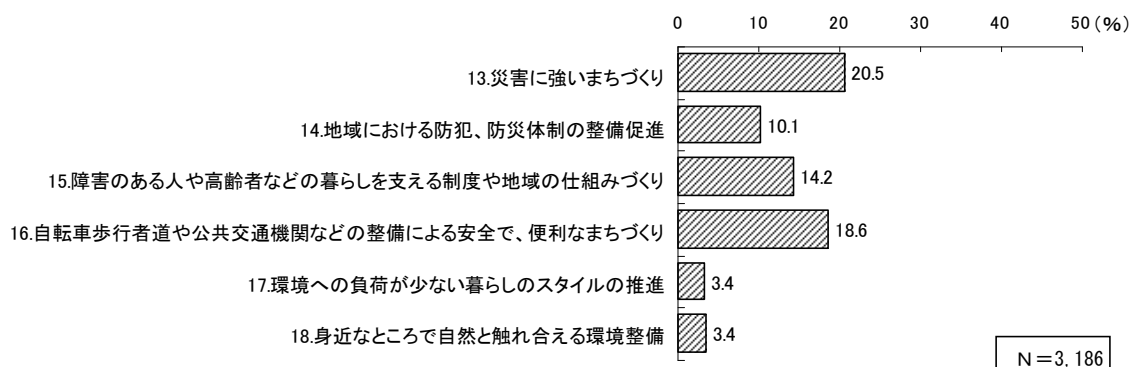
(健康)



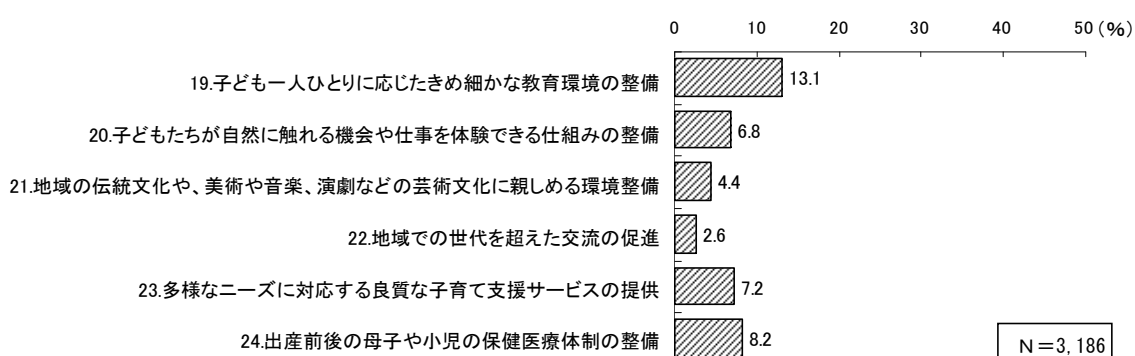
(働く)



(住む)

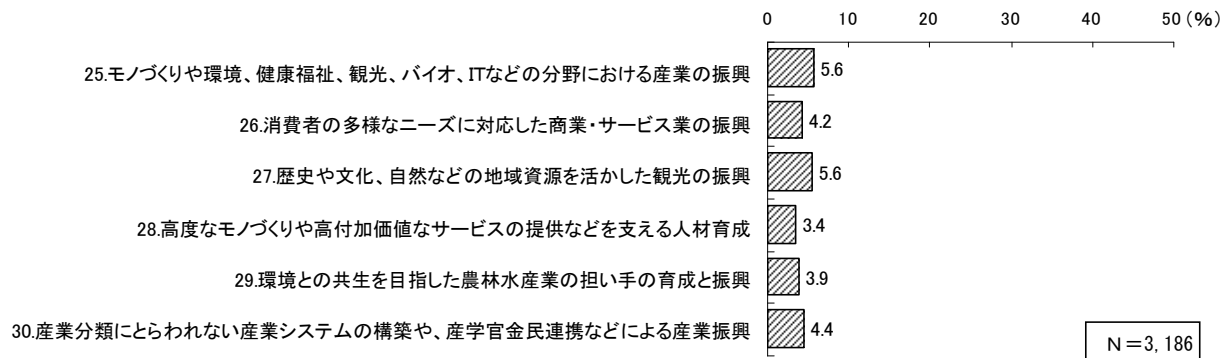


(学ぶ・育てる)



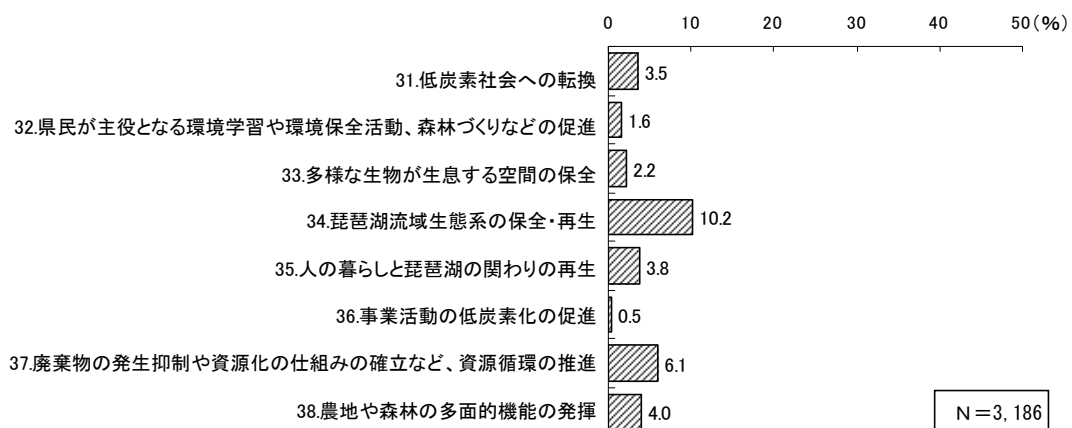
③経済・産業分野における要望

経済・産業分野では、「モノづくりや環境、健康福祉、観光、バイオ、ITなどの分野における産業の振興」と「歴史や文化、自然などの地域資源を活かした観光の振興」が5.6%と同率で最も高くなっている。



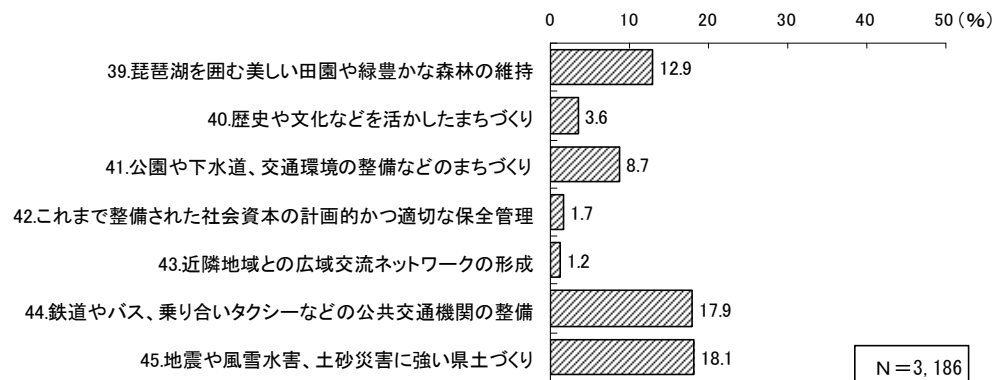
④環境分野における要望

環境分野では、「琵琶湖流域生態系の保全・再生」(10.2%)が最も高く、次いで「廃棄物の発生抑制や資源化の仕組みの確立など、資源循環の推進」(6.1%)となっている。



⑤県土分野における要望

県土分野では、「地震や風雪水害、土砂災害に強い県土づくり」(18.1%)が最も高く、次いで「鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備」(17.9%)となっている。



【地域別】

大津・湖南・東近江・湖東地域では「在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備」、甲賀地域では「鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備」、湖北地域では「地震や風雪水害、土砂災害に強い県土づくり」、湖西地域では「就業支援の推進」が最も高くなっている。

(単位：%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 (N=3,186)	5. 在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備	13. 災害に強いまちづくり	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	45. 地震や風雪水害、土砂災害に強い県土づくり	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備
	24.5	20.5	18.6	18.1	17.9
大津地域 (N=776)	5. 在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備	13. 災害に強いまちづくり	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	45. 地震や風雪水害、土砂災害に強い県土づくり
	27.6	24.5	20.4	20.1	19.1
湖南地域 (N=704)	5. 在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備	12. 子育てと仕事の両立を可能にするための社会基盤の整備	13. 災害に強いまちづくり	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	10. だれもが働きやすい職場環境の整備促進
	26.1	20.5	19.0	17.9	15.9
甲賀地域 (N=340)	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	5. 在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備	45. 地震や風雪水害、土砂災害に強い県土づくり	15. 障害のある人や高齢者などの暮らしを支える制度や地域の仕組みづくり
	25.9	21.8	20.6	15.9	15.3
東近江地域 (N=530)	5. 在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備	13. 災害に強いまちづくり	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備	7. 就業支援の推進	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり
	20.8	18.1	17.4	17.0	16.6
湖東地域 (N=330)	5. 在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備	13. 災害に強いまちづくり	45. 地震や風雪水害、土砂災害に強い県土づくり	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	15. 障害のある人や高齢者などの暮らしを支える制度や地域の仕組みづくり
	30.9	21.2	20.6	20.0	17.6
湖北地域 (N=364)	45. 地震や風雪水害、土砂災害に強い県土づくり	13. 災害に強いまちづくり	7. 就業支援の推進	5. 在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備	12. 子育てと仕事の両立を可能にするための社会基盤の整備
	26.4	22.5	19.8	17.0	16.5
湖西地域 (N=134)	7. 就業支援の推進	5. 在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備	13. 災害に強いまちづくり 45. 地震や風雪水害、土砂災害に強い県土づくり	
	33.6	26.1	25.4		23.1

【性別】

男女ともに「在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備」が1位となっている。次いで、男性は「災害に強いまちづくり」が、女性は「子育てと仕事の両立を可能にするための社会基盤の整備」が続いている。

(単位：%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (N=1,546)	5. 在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備	13. 災害に強いまちづくり	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	7. 就業支援の推進	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備
	19.9	19.4	18.3	16.6	16.3
女性 (N=1,598)	5. 在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備	12. 子育てと仕事の両立を可能にするための社会基盤の整備	13. 災害に強いまちづくり	45. 地震や風雪水害、土砂災害に強い県土づくり	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備
	29.4	21.7	21.3	21.0	19.9

【性・年代別】

男性の20歳代では「就業支援の推進」、30歳代は「災害に強いまちづくり」、40歳代は「鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備」、50歳以上では「在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備」が1位となっている。「災害に強いまちづくり」は、すべての年代で5位以内に入っている。

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	20歳代 (N=118)	7. 就業支援の推進	10. だれもが働きやすい職場環境の整備促進	13. 災害に強いまちづくり	19. 子ども一人ひとりに応じたきめ細かな教育環境の整備	12. 子育てと仕事の両立を可能にするための社会基盤の整備
		44.9	33.1	23.7	21.2	20.3
	30歳代 (N=212)	13. 災害に強いまちづくり	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり 45. 地震や風雪水害、土砂災害に強い県土づくり	7. 就業支援の推進 44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備		
		22.6	20.3	17.9		
	40歳代 (N=271)	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	13. 災害に強いまちづくり 19. 子ども一人ひとりに応じたきめ細かな教育環境の整備		5. 在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備
		28.0	25.1	24.0		21.0
	50歳代 (N=310)	5. 在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備	7. 就業支援の推進	13. 災害に強いまちづくり	45. 地震や風雪水害、土砂災害に強い県土づくり	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備
		23.9	22.3	21.3	18.7	16.5
	60歳代 (N=389)	5. 在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	15. 障害のある人や高齢者などの暮らしを支える制度や地域の仕組みづくり	13. 災害に強いまちづくり	39. 琵琶湖を囲む美しい田園や緑豊かな森林の維持
		25.7	17.7	16.5	14.4	13.6
	70歳以上 (N=244)	5. 在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	13. 災害に強いまちづくり	4. 食品の安全や水道水の安定供給、感染症対策の推進	34. 琵琶湖流域生態系の保全・再生
		17.2	16.0	14.3	13.9	13.1

女性の20～30歳代では「子育てと仕事の両立を可能にするための社会基盤の整備」が、40歳以上では「在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備」が1位となっている。

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
女性	20歳代 (N=184)	12. 子育てと仕事の両立を可能にするための社会基盤の整備	45. 地震や風雪水害、土砂災害に強い県土づくり	24. 出産前後の母子や小児の保健医療体制の整備	13. 災害に強いまちづくり	7. 就業支援の推進 19. 子ども一人ひとりに応じたきめ細かな教育環境の整備
		33.2	26.1	23.4	22.3	20.1
	30歳代 (N=257)	12. 子育てと仕事の両立を可能にするための社会基盤の整備	19. 子ども一人ひとりに応じたきめ細かな教育環境の整備	13. 災害に強いまちづくり	45. 地震や風雪水害、土砂災害に強い県土づくり	23. 多様なニーズに対応する良質な子育て支援サービスの提供
		41.6	29.2	24.5	23.0	21.4
	40歳代 (N=300)	5. 在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備	19. 子ども一人ひとりに応じたきめ細かな教育環境の整備	13. 災害に強いまちづくり	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備	7. 就業支援の推進
		32.7	26.0	22.7	22.3	20.7
	50歳代 (N=326)	5. 在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備	45. 地震や風雪水害、土砂災害に強い県土づくり	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	13. 災害に強いまちづくり	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備
		39.3	26.4	23.9	23.6	23.3
	60歳代 (N=328)	5. 在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備	15. 障害のある人や高齢者などの暮らしを支える制度や地域の仕組みづくり	2. 安心な滋賀県産の食べ物の生産、提供の推進	44. 鉄道やバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の整備	45. 地震や風雪水害、土砂災害に強い県土づくり
		34.8	21.3	20.4	17.4	17.1
	70歳以上 (N=199)	5. 在宅医療の推進や介護サービス、医療施設の整備	15. 障害のある人や高齢者などの暮らしを支える制度や地域の仕組みづくり	16. 自転車歩行者道や公共交通機関などの整備による安全で、便利なまちづくり	2. 安心な滋賀県産の食べ物の生産、提供の推進	13. 災害に強いまちづくり
		29.1	23.1	22.6	20.6	19.6

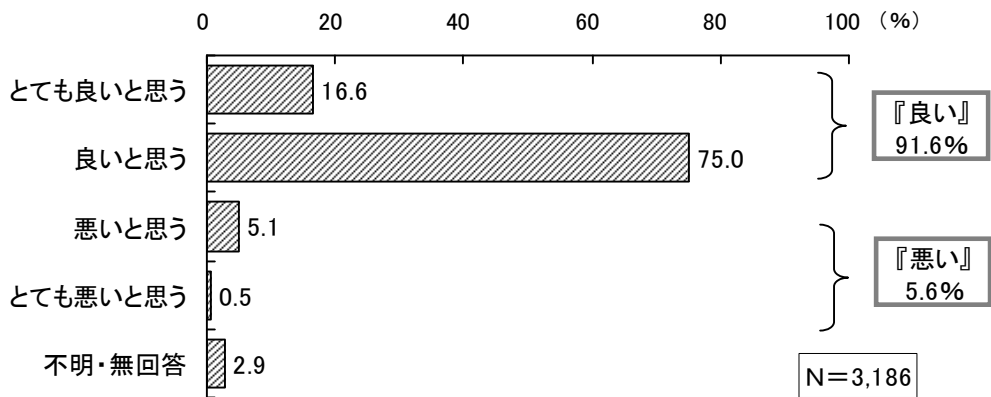
(5) 住み心地

問 10 あなたは、滋賀県の「住み心地」についてどう思いますか。あなた自身の気持ちに最も近いものを選んでください。(○は1つだけ)

◆ 「良いと思う」が 75.0%

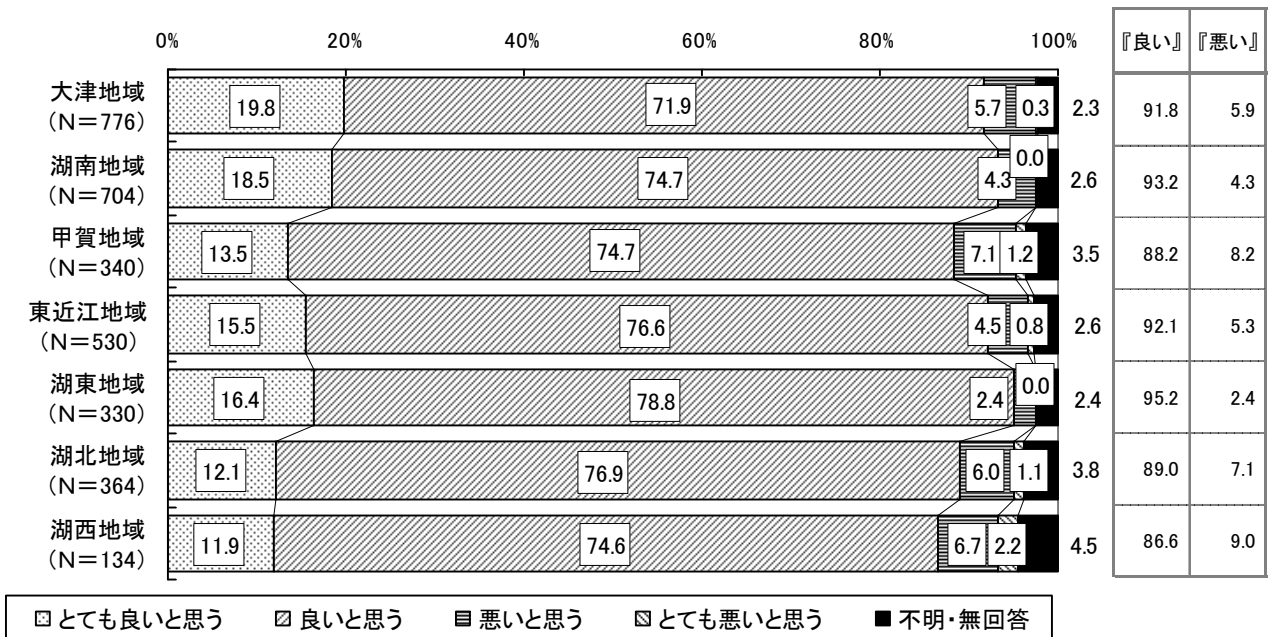
滋賀県の「住み心地」については、「良いと思う」が 75.0%で大多数を占め、次いで「とても良いと思う」(16.6%) となっている。

『良い』(「とても良いと思う」と「良いと思う」の合計) は 91.6%、『悪い』(「悪いと思う」と「とても悪いと思う」の合計) は 5.6%となっている。



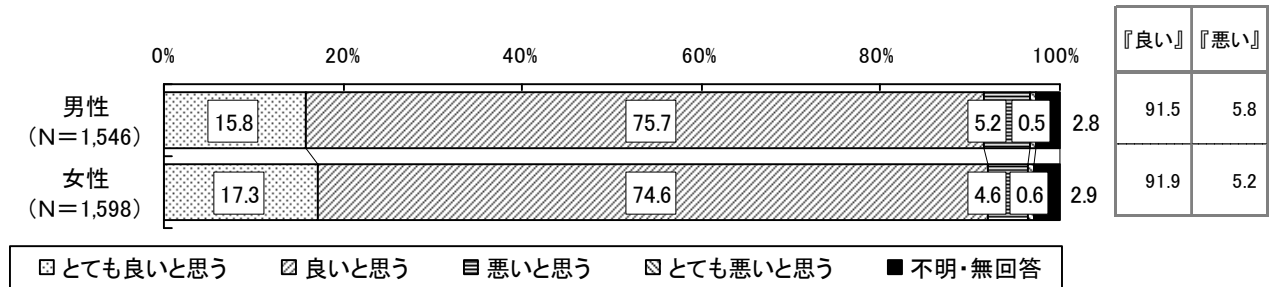
【地域別】

すべての地域において『良い』が 86%を超えており、なかでも湖東地域が 95.2%と最も高くなっている。



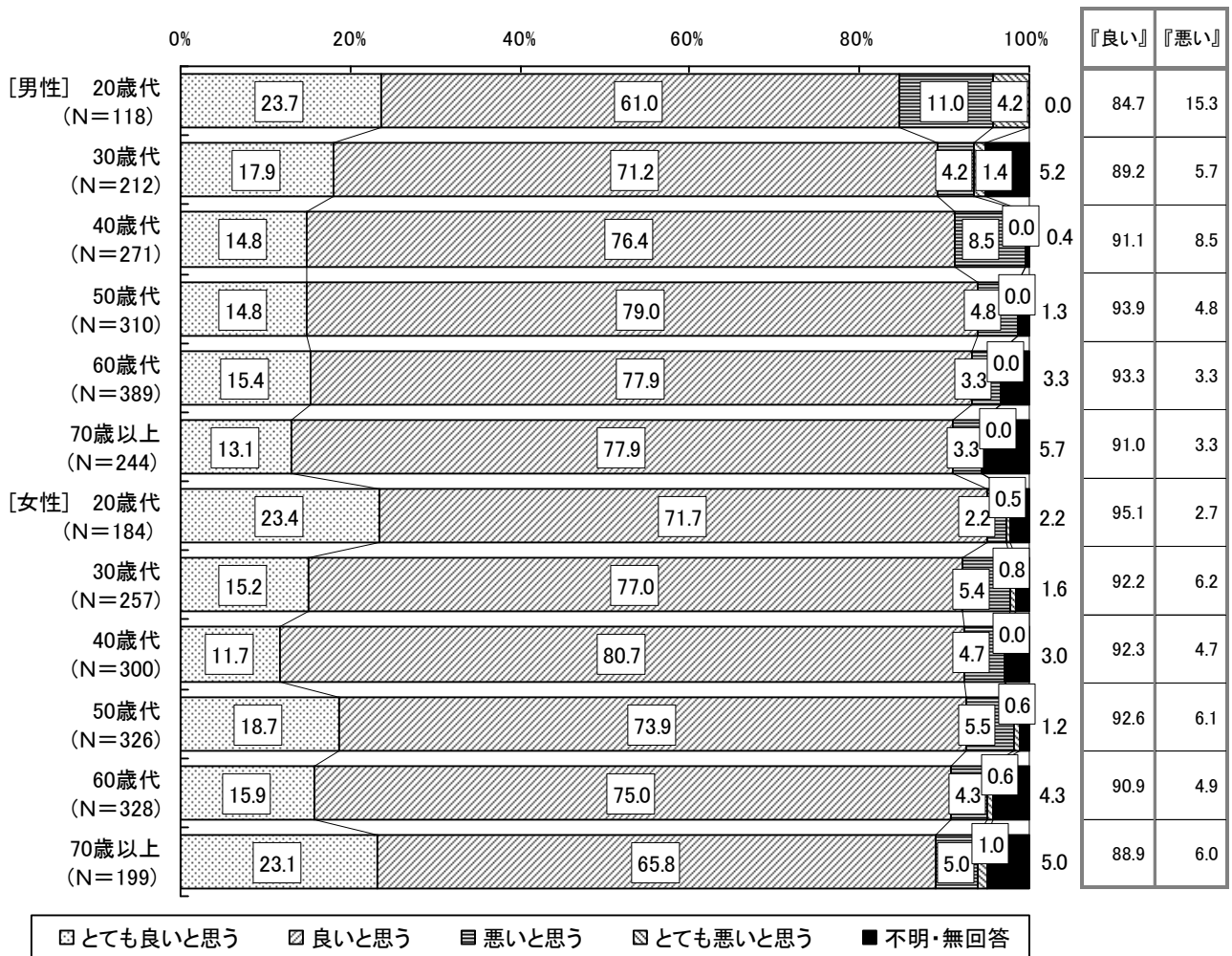
【性別】

男性では『良い』が91.5%、女性は91.9%となっており、女性の方が0.4ポイント高くなっている。



【性・年代別】

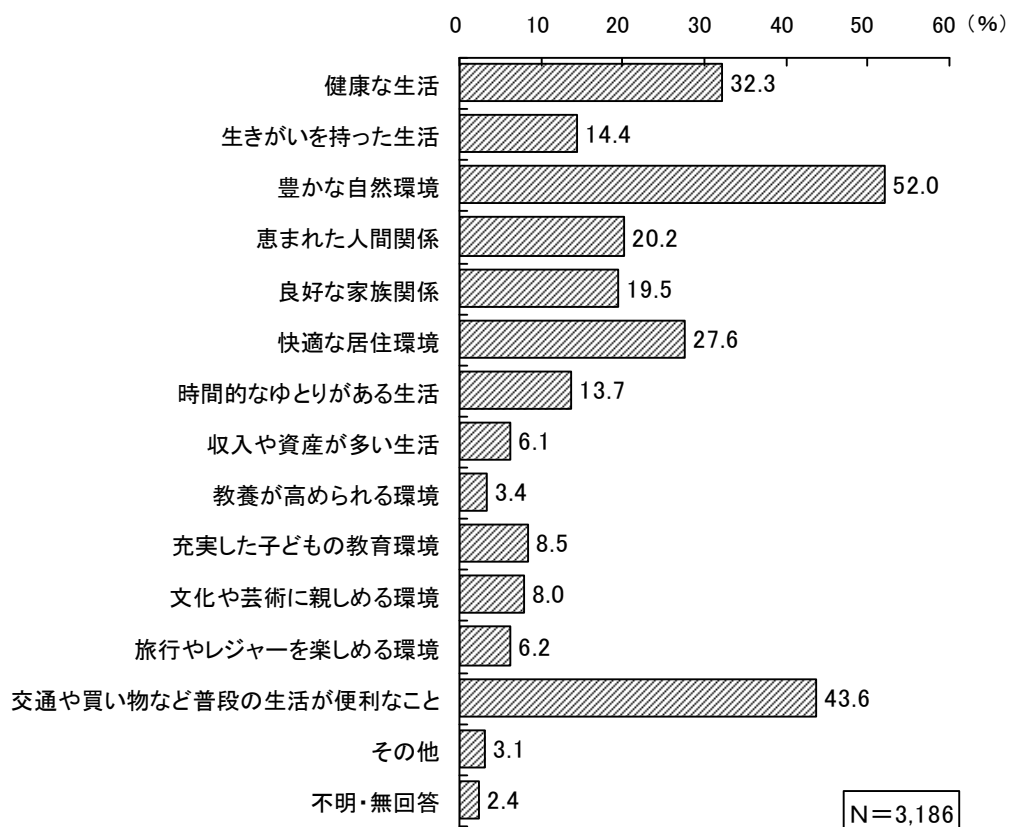
男性では『良い』が40歳以上で9割を超えるが、20歳代は84.7%、30歳代では89.2%となっている。女性では20歳代で95.1%と最も高く、70歳以上で88.9%と最も低くなっている。



問 11 あなたにとって、「住み心地」の良さにつながるのは、どのようなことですか。(〇は3つまで)

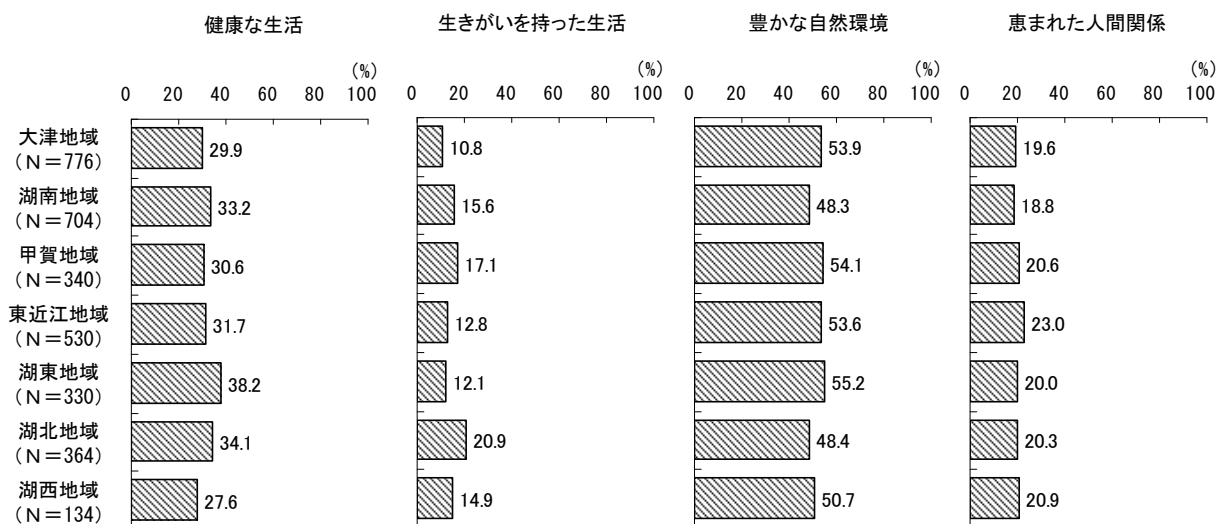
◆「豊かな自然環境」が52.0%

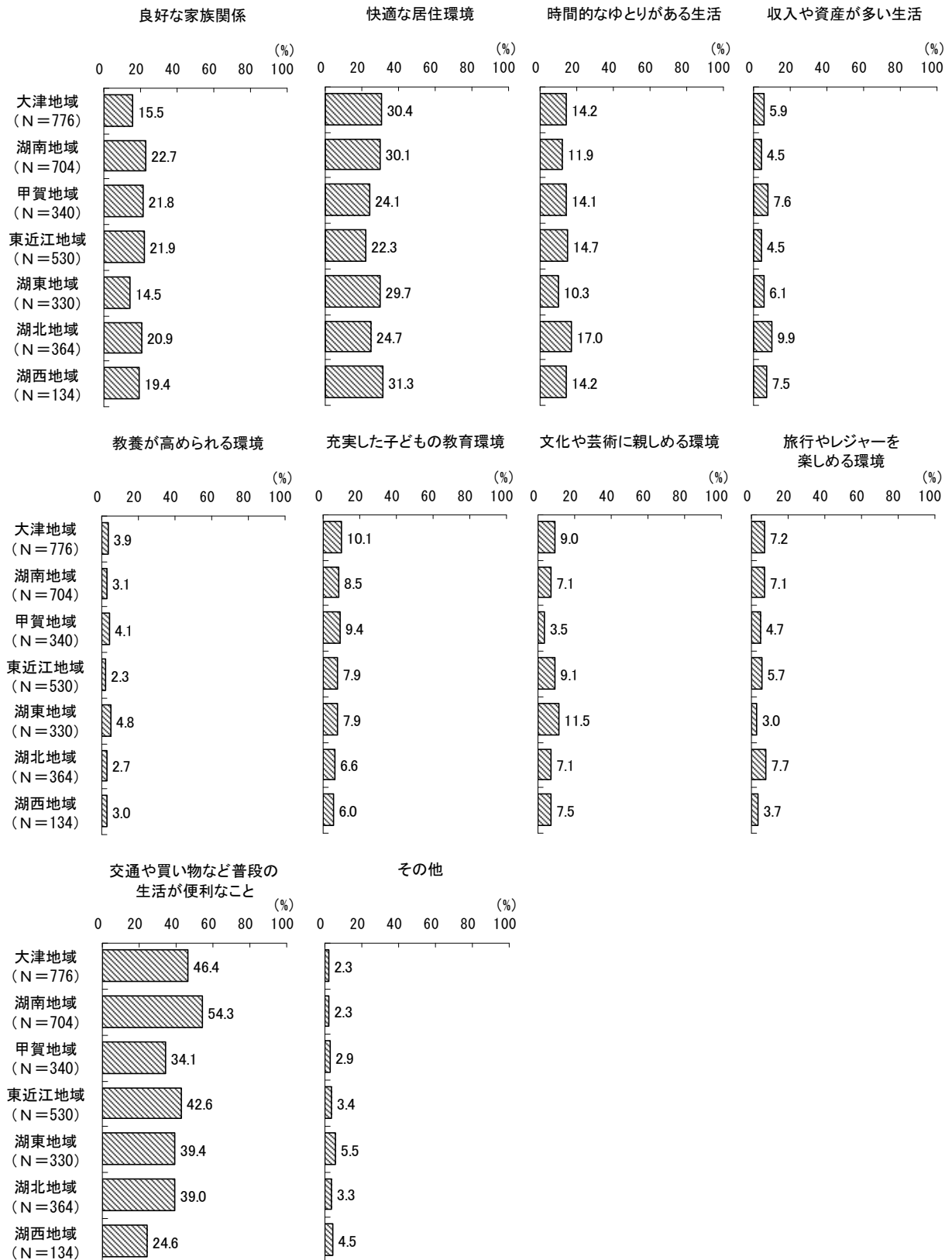
「住み心地」の良さにつながることは、「豊かな自然環境」が52.0%と最も高く、次いで「交通や買い物など普段の生活が便利なこと」(43.6%)、「健康な生活」(32.3%)の順となっている。



【地域別】

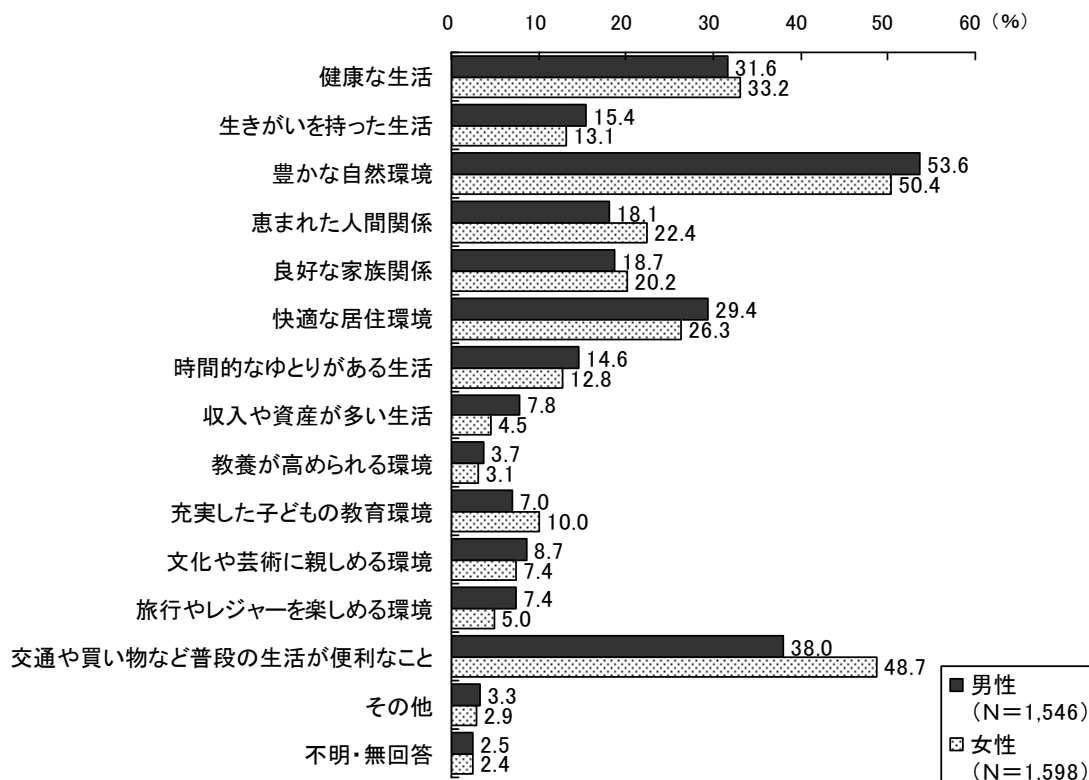
湖南地域では「交通や買い物など普段の生活が便利なこと」が最も高く、その他の地域では「豊かな自然環境」が最も高くなっている。「豊かな自然環境」はすべての地域で2位以内を占めている。





【性別】

男女とも「豊かな自然環境」「交通や買い物など普段の生活が便利なこと」「健康な生活」の順で高くなっている。「交通や買い物など普段の生活が便利なこと」では、女性（48.7%）が男性（38.0%）に比べ10.7ポイント高くなっている。



【性・年代別】

男性の20歳代と女性の20～40歳代では「交通や買い物など普段の生活が便利なこと」が最も高く、男性の30歳以上と女性の50歳以上では「豊かな自然環境」が最も高くなっている。

「良好な家族関係」は女性の20歳代で、「時間的なゆとりがある生活」は男性の20歳代で、「充実した子どもの教育環境」は女性の30～40歳代で、他の世代と比べて高くなっている。

